

町政を問う 一般質問



永田 和彦 議員

新市長選挙について

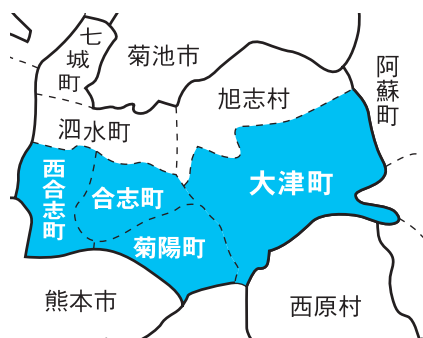
今後の方向を示すためにも、四町合併した場合「市長選に出馬する意思はあるのか」お聞きしたい。

大村町長

四町合併した後に、市長になる意思があるのか、立候補する意思があるのかというご質問について、端的かつ重要な問題だと自分でも思っております。

永田議員のご質問に即答できないことは残念ですが、私が今する仕事とすれば、町民の皆さんのご理解を得て合併協議を一

市長選挙の「し」の字も頭にない合併協議をすすめることが仕事



4町が合併すると10万都市になる

合併特例債で社会資本の整備？

住民説明会において、大津町は他町と比べて社会資本の整備が遅れている。合併すれば合併特例債で行うと説明されたが、失政の理由と合併特例債が遅れている社会資本整備に使える根拠は。

大村町長

大津町が、他の三町に比べて社会資本の整備が遅れていることは事実です。失政であつたかということもご指摘がありまして、たけれども、その時々時代のニーズあるいはその責任において処理されてきたものであります。すし、議会も当然それをお認めの上での大津町としての行き方ではなかったろうかと思えます。

遅れるというのは物理的に当たり前のことだろうと思えます。確かに下水道、道路事情などは、整備が遅れています。が、町全体の資本の整備状況は、決して遅れてはいないのではないかなと思います。

ある元職員が、失政あるいは町の行政の在り方も暗に認めておるじゃないか。というご指摘がありました。元職員も自由な立場ですのでそれを制限することはできませんけれども、誤解を招く可能性もあります。すし、議員からご指摘がありましたようなことも、当然裏返しで言えばそういうことだということも暗に認める結果にもなるわけです。

合併特例債は、国の市町村合併支援のプランの中で、①合併市町村の一体性の速やかな確立を図るための公共施設の整備事業。②合併市町村の均衡ある発展に資するための公共施設の整備事業。③合併

行政エリアが広いため失政とは言えない 特例債の根拠はあるが新市建設計画に盛り込むことが必要

何よりも大津町が他の三町に比べて、自然財産も含めて、行政エリアが広いということ。例えば他の三町と同じ額を投資したとしても、その整備が

住民投票について

断言はできませんけれども、代議士の名前、議員の皆さんのお名前が出てきたり、私の進退に関することまで出て、決して気持ちのいいものではありませんでした。

「私たちが議論するのはそこではないでしょう」と声高にやはり叫ばねばならないというのが感じとしてございました。

結果を謙虚に 受け止めていきます

大村町長 合併に向けての意思表示は明確に述べております。それを進めることが私の役目であるとも思っています。町を二分した住民投票の結果を謙虚に受け止めてやっています。全ての町民の方が大津町を愛し、あるいは大切に思っており、その気持ち



5 / 23日の住民投票所

を大切にしていけることが大事であると思っています。いずれにしても方向性が定まりました。住民投票の結果が、多くの方の最終的な判断として、「よかったな」と言っていた、だくような形に持っていきたいと思っています。

四町合併への決意を問う



月尾純一郎 議員

四町合併の賛否を問う住民投票の結果は賛成多数だった。条例では「町民、町議会及び町長は、住民投票の結果を尊重しなければならない」としている。町長は、この結果を真摯に受け止め、改めて「四町合併へ向けていささかのゆるぎなし」との姿勢を、広く町民に表明する責任があると思うがどうか。

町も積極的に取り組みます

事件に対する17項目のマニュアルを作っています。今回、警察及び療法心理士のカウンセラーを呼んでの教職員の研

武田教育長 21世紀を、このグローバルな世の中を、どんどん引張っていく、強く生きていくためにはそれなりのことも達の体力、気力等の充実が必要だと思っています。私達も「こども達は町の宝」という気持ちで学校運営、教育等に携わっています。学校等施設内の安全管理総点検については、学校でのいろいろな

安全対策協議会の設置については、具体的な目的に沿って、こどもを守るという強烈な立場で取り組んでいきたいと考えています。通学路の安全点検については、もう一度PTA、学校、教育委員会で、こども達が安全に通えるよう点検をし、努力をしていきたいと思っています。



セーフティボランティア制度に取り組む護川小

こども達の安全と安心を守れ

- こども達は未来から託された大切な社会の宝。国の宝。世界の宝。こども達が本心に安心して暮らせる社会となるよう町の総合力を結集して取り組まなければならない。
- ①「パトロール中」というステッカーを作成し、防犯意識の啓発、犯罪者への警告をしていく考えはないか。
 - ②小・中学校、幼稚園、保育園等施設内の安全管理体制の総点検。「スクールポリス」システムの導入などの考えはないか。
 - ③保護者、自治会、警察などの地域諸機関が、学校等と協力して「学校等安全対策協議会」を設置し、地域ぐるみでこども達の安全を確保する体制をつくる考えはないか。
 - ④こども達の通学路の総点検をしていく考えはないか。

修会を考えています。

安全対策協議会の設置については、具体的な目的に沿って、こどもを守るという強烈な立場で取り組んでいきたいと考えています。

大村町長 こどもを含めた地域の安全を守るというのは、行政の最大の責任であると思っています。行政区嘱託員、町、警察による防犯ネットワークづくりに着手して協議をしています。大津地区防犯協会連合会は、広域的な形で管内の防犯活動に取り組んでいます。「こども一〇番の家」の設置もその一つです。

「パトロール中」のマグネット式ステッカーは、防犯協会が効果があったと聞いていますので、町も積極的に取り組んでいきたいと思っています。又、防犯ベルについては、今年度中に予算を計上して、現在準備しております。



荒木 俊彦 議員

住民投票の結果は町を二分 手段を選ばぬ合併推進の運動 このまま合併を強行すれば取 り返しのつかない禍根を残す

五月二十三日に、四町合併の可否に関する住民投票が行われ、五〇%を超す投票率で、わずかながら合併賛成の票が多い（二六〇票）という結果でしたが、投票運動の中で論争、やり方は、大変公正さに欠けるものでした。

特に四町合併に賛成をする「合併推進協議会」が作成し、活字となった宣伝物です。また、元公務員であった数名の方々が街頭から宣伝をなさっておりまして、まさに下品極まる、品性のかけらもない、聞くに耐えないものでした。

「推進協議会」が発行したチラシの内容は、自分達の目的に合わない、自分達の目的達成のためなら手段を選ばない。まったく根拠

のないことで相手を攻撃する。あるいは人権をも無視するもので、この人たちに「町を愛するとか、民主主義を語る資格はない」と言わざるを得ません。

住民投票条例の第十一条（投票運動）は「投票活動は自由とする。ただし、買収、脅迫など町民の自由な意思が拘束され、又は不当に干渉されるものであってはならない」となっています。

この条例の趣旨に反する不当なデマ宣伝によって勝ち得た合併賛成の結果について、尊重する義務を負うことはできないし、合併を強行すれば取り返しのつかない禍根を残すことになる

住民投票の結果は、まさに町民の意見が真つ二つに分かれている。そういう状況の中で四町合併を強行すれば将来にわたって禍根を残す。合併による不安解消の確約はない。ここは冷静に町民の利益を守る、このことが大津町を愛する町長としての務めではないか。

特に、周辺地域また、町長の出身地域であります北部地域の方々の不安の声に応える勇氣、これを私はあえて求めたい。

合併による不安解消の確約はない

大村町長

町政区域の線引きは、やむを得ない 周辺対策・過疎化対策は早急に対処したい

不安の一つとして、市街化調整区域の導入については、合併した場合、将来の市街化区域・調整区域の線引きについては、やむを得ないと考えます。実施まで、早くて五年、遅ければ七・八年かかるというわれ、その間に将来の都市づくりの議論の中で、大津の区域線引きが導入されるものと思っております。

周辺対策あるいは過疎化地域における対策について

周辺対策あるいは過疎化地域における対策をどうすべきかというのを早急に調査を着手しなければならぬと思います。従いまして、今日断言できますことは、こどもからお年寄りまでこのままその地域に住み続けることができるように、あるいは又、新たな定住化促進ができるように、社会福祉でありますとか、教育、農業をはじめとします産業基盤の整備、あるいは生活環境の整備等をどうしたらいいかということ、まず地域の方々あるいは専門の機関に依頼することも含めて、地域振興対策をするための調査に乗り出したいと思っております。

大村町長

投票運動の中

で、町長、議員あるいは職員、国会議員まで引き合いに出しての住民へのアピール、あるいはまた、大津町の町政を選ぶ選択肢の表現として、大村町政を選ぶのか、特

投票運動に残念なことがあったのは事実ですが 住民投票そのものは、結果を尊重したい

定の政党を選ぶのかといった記事もあったように聞いております。また、合併協議会で、まだ方向性が最終決定がなされていない部分・都市計画の問題、高校の通学区の問題について、決定されたかの表現も見受けられました。そういう中で、今回住民投票を実施して、三六〇票の差ではありましたが、賛成多数ということ、合併協議につ

きましては、町民の方のご理解を得たというふうに認識をしています。

趣旨に反するやり方が尊重に値するののかという見解でございませけれども、住民投票そのものは、お一人おひとりの気持ちや条例の趣旨に沿うものであり、結果としては尊重に値するものだというふうに思っております。ただ、残念なことも一部には見られたことは事実です。

法定協議会について



坂本 典光 議員

平成十六年五月二十七日第十回菊池南部四町合併協議会が開かれた。

都市計画について、菊陽町は次のように提案した。

「大津町は区域区分（市街化区域と市街化調整区域の線引き）がないので合併後、直ちに区域区分を行い……」

合志、西合志が賛意を示したので議長は多数決で議決しようとした。

議長「十二月からの協議なのでここで議決したいと思いません。」

大津町委員（A）「自分たちも立場があるので議決しないでもらいたい。」

大津町委員（B）「お願いします。」

継続協議にはなったが、次回は議決される見通し。

①庁舎の時は「断腸の思い」と言ってる承した。今回も「断腸の思い」で承するのか。

②大津町の想いが通らないときは、いつでも離脱すると言っていたが、そもそも大津町の想いとは何だったのか。

③三町連合に対して大津町の意見はなかなか通らない。このまま三町の言つなりに押し切られていくのか。

※都市計画問題のその後の経過はP11に掲載しています。

合併特例債について

町民説明会で、町長は合併特例債を使って、下水道工事、プール建設が早まると説明しているが、下水道工事、プール建設に特例債が使えるという保証はあるのか。使えるかもしれないという可能性ではないのか。新市になってから、実際に合併特例債を使おうとする際には、最終的に県の許可が必要はなはずだが。

大村町長

合併のメリットということ
で合併特例債というのを申し上げましたけれども、私は今

でも合併のメリットとしては
合併特例債というものを第一にあげたいと思います。これを使って、遅れているという

大村町長

法定協議会でのやりとりの中で、懸案事項、まだ未解決の問題が二つあります。一つは都市計画の問題、一つは庁舎の位置ということでございます。

大津町が名指しをされた形で区域区分の設定がされますと、合併後直ちに区域区分が設定される文面になります。大変混乱を招くということ

から修正案ではなく、原案に賛成の立場です。都市計画と庁舎の位置については、大津町としては、譲りに譲れないという線がありますので、ここまで継続審議としてきているわけでございます。都市計画については、原案を終始一貫して主張してまいります。

大津町の想い、とは大津町が今まで進めてきた政策の継続性、今後の発展性だと理解しています。

特例債が合併のメリット

表現が不的確であれば避けます。少なくともまた十分整備がされていない、あるいはほかの町村に比べ均一化されていない部分について大津町の社会資本の整備を特例債を使ってやるのが合併の意義でもあります。



4町合併法定協議会の風景

原案を終始一貫して主張する

循環型農業における

堆肥センター建設について



石原 大成 議員

今年の十一月までに畜産農家は、堆肥舎などの整備をするなど管理が必要となり農家には莫大な費用がかかり、後継者のいない畜産農家には大きな負担となります。このような中、現在JAを中心として、大津町循環型農業推進協議会で進められている堆肥センターの建設計画があつていますが、場所選定で難航しているようです。現在予定されている場所は次の二点に問題があります。野菜農家が使用するまでには、二次発酵に二ヶ月を要し、その臭いを脱臭装置で完全に除去することは難しい。しゃへい物もなく特有のまつり風の常習地帯でもあり、すでに同地区からも反対の意見書も提出されています。二点目はその場所は大津の農産物の集出荷の拠点であり、併設した場合、消費者や買い付け業者のイメージダウンやクレーム、敬遠など揺るがしかなない懸念があります。

以上のようなことで農協が地域社会に迷惑をかけるようでは信頼を失い、存在の意義を危くするものである。消費あつての生産であり、地域住民の反発をまねけば地産地消どころではなく、この様な状態の中、行政指導する立場にある町長としての考えを伺いたい。

大村町長

大津町としては循環型農業というのを町の農政の基本政策に掲げて畜産農家、耕種農家、農業団体及び大津町とで組織として「大津町循環型農

業推進協議会」を設立し、若干ですが町からも支援し、家畜排泄物の適正な処理に努めております。JAが堆肥のストックヤード構想を設け、大津町では大津と菊陽地域にお

地域の人たちの理解を深めることが大事です

いって一箇所ストックヤードを建設するということが構想がある様ですが、土地の問題、耕種農家との連携等の細部にわたる問題もある様です。

今、場所の問題でいろいろあるという意見ですけども、私も直接聞いたわけではありませんが、ここで私が今述べることは出来ませんが、場所論争だけじゃなくて、本質的な部分をちゃんと見極めながら、「それが結果的には町民の方々、地域の方々のためにも役に立つんですよ」という位置付けでないと、畜産農家の排泄物処理だけの目的、耕種農家がそれを利用するだけの目的では無理があると考えられます。

今後モデル的にも、有機の畜産物とか、あるいは低公害無農薬とかそういうものも含めながら、地域の人達にちゃんとした形で理解を深めていくことが大事だし、農家の集まりであるJAが一次的に取り組まなければならない問題であり、また、町としても農政、行政としての責任、これがどういう対応なのかというものも見極めながら進めていきたいと思えます。

水田涵養と遊休農地について

かんよう

大村町長は星田ゴルフ場跡地の購入や広葉樹林植栽など自然環境に力を注いでおられ、その中で白川中流域の水田の地下水の涵養ということで、水張り田の実施をされていますが、面積やその効果、また、熊本市との関係をお尋ねします。また、遊休農地も多くあると思います。面積はどのくらいか、遊休地をどの様にするか構想があればお聞かせください。

大村町長

遊休地奨励金の再検討

今白川流域で取り組んでおられます地下水の涵養対策、これはあくまでも熊本市民に対する水の供給、地下水の安定対策であります。市から農家への協力助成金として、総額二千六〇〇万円程度が交付され受け皿として土地改良区が推進にあたっております。熊本市とは環境の森の事業の協力も含めながら、水に絡んだいわゆる広域協力体制というのも大津町が果たす役割と思います。

遊休地につきましては、現在調査中ですが、約三十haの遊休地があると推測しています。対策として、担い手への利用促進・市民農園などの利活用、山間地等の農地につい



水張りされた水田

ては、今後農地として残すか、あるいは自然環境を重視する方向で模索した方がいいのか、そういうことも含めなければなりません。また、一時期取り組んでいた、流動化促進に対する奨励金、これも当然検討しなければならぬことだと思っております。



現在の天津駅前風景

役場南側のオークス広場については、あまり利用されていないように思われる。また、豊肥本線を挟んで町の土地があるので、その有効利用を図るため新駅をつくり、イベント広場として使っているのか。また、現在の駅舎については、大津の古き良き時代を伝える歴史資料館として利用できると思うがこの考えは。

オークス広場に新しい駅を！



藤森昭二 議員

周辺整備で町の活性化を

大村町長

駅周辺については、過去からの投資により、ある程度の整備が進んでいる現状です。しかし、駅舎の前が道路で駅前広場がありません。特に駅周辺の住民、商業者を中心に駅をまたいで南北に自由に通れる通路が要望されております。したがって、本年度は当初予算で肥後大津駅整備基本計画作成業務を立ちあげるため予算化、いわゆる駅周辺の開発コンサルタントを活用、全容がわかり次第、開発推進計画を進めてまいります。

四町合併に向けて遅れている 道路整備を早急に

大津町の道路整備は、菊陽町などと比べて遅れている。工夫次第で経費をかけずに整備ができるのではないかと。

①香梅前、ジャスコ交差点南側、大津小交差点の南側などが考えられる。
②南部地域の県道瀬田竜田線、瀬田熊本線の改良の遅れが目立つ。県議会や地元出身国会議員の方とも連携して、合併までに目途をつけてもらいたい。

県に強力に要望します

大村町長

県道に関連するものは強力に改良を要望します。ジャスコ交差点南側、大津小学校の南交差点などは町行政サイドで詰めていきます。県道瀬田竜田線については継続工事として瀬田区間を行っていただきます。用地の取得次第では大林地区は平成

四町合併にあたり町の 均衡ある発展の計画は！

①町が持っている広大な

町有林について、広域林道等の整備を含め、有効利用を図るべきである。特に大津町の六十四地区の高齢者の方々の知恵やアイデアを出してもらって、次世代のこどもたちにも森林に親しみ活用を図ってはどうか。
②現在ある町道・農道の連結を図り、豊肥線沿いのオークスプラザから文化ホール、スポーツの森、岩戸の里までのジョギング

ロードを整備。

③空港東側の岩坂台地に整備中の農免道路と瀬田熊本線をつなぐ道路について現在ある町道を改良して整備を考えてはどうか。

大村町長

広域林道沿線には環境の森を構築するために約八十八haを買収し熊本市と提携し植林を進めます。現在ある町道農道の連携については今後の道路行政のあり方として町民地

均衡のとれた 道路整備を急ぎます

また、今後の路線改良は長期的計画を立てたあと、道路整備には担当部署を配置します。

十九年度に完了する予定です。また、錦野外牧地区の県道外牧バイパスの用地取得次第で本年度に工事予定となります。山西大津線は鳥子川北側交差点から森橋まで用地の取得を終り十七年度に完成します。県道の拡幅改良工事は県財政難もありますが、早期完成に向け、強く要望していきます。

域の皆さんが健康増進のためジョギングロードあるいはウォーキングロードの整備と生活道路の整備は分けて一体化は危険性を伴いますので健康増進のための施設、スポーツ普及育成のため運動公園の整備を進めると共に生活道の整備も同時に進めてまいります。

農地流動化集積を更に促進します

大村町長 平成四年度から平成十三年度まで大津町高生産性農業構造確立対策事業で経営規模拡大や農地流動化集積を促進するための奨励費（助成金）を交付した経緯があり、五年以上の賃貸借に対し総額で一億三千六百万円程交付した実績があり、現在一

定の役割を果たしたことで事業を中止、今日に至っておりますが、合併協議のなかでも必要な事業と位置付け新市計画にて奨励費を支出することを確認しました。今後、農地の流動化集積に積極的に行行政が関与し総合的農政を進めたいと思います。また、儲かる農業を目指すためには、経営内容を把握し農家自ら法人化に移行し経営体制を確立する必要があります。農地集積の流動化促進に更なる努力をします。

担い手の経営支援と農地集積促進を図ろう

食料の自給率の引き上げが叫ばれているなか、担い手の経営状況を見ますと自立経営に乏しく、農業生産を維持するには、個々の規模拡大が必至であり農地の流動化が鈍っている現実を踏まえ、農地利用集積対策が重視されてまいりましたので、本町においても担い手の育成、支援の一助として、農地流動促進の進捗の観点から貸借に伴う助成金の支出が急務と思われるが所感を伺います。



手嶋 靖隆 議員

給食を通じて農の大切さを学ばせます



給食センターでの調理現場

武田教育長 現在、JAのとれたて市場を通じ鮮度のなもの、あるいは定期的なものを考慮し給食の折に地産地消のことを含めながら生産者の言葉を給食時に各学校で放送しPRに努

学校給食での食材は、本町で生産された農産物を計画的に栽培し、安全な食材として供給できる体制をとるべきであるが、現在、どのような態勢になっているのか。また、町内での学校給食用、農畜産物の供給状況はどうなっているのか、関係団体との協議の経緯と今後の対応について所見を伺います。

地産地消に伴う学校給食の対応は！

公共公園における遊具の再点検を

先般、大阪府高槻市の団地で小学生二人が回転遊具で指を切断した事故が発生以来、各都道府県が公共遊具等の施設を点検し、再発防止に努めている現状を踏まえて、本町においては、

めています。食べものは児童生徒の体を育む大切なもので、栄養があり安全なものを食材としております。また、地産地消の組織的なことについては町関係団体、学校教育課等と一緒に「からいもが育むまちづくり関係者会議」を行い、給食委員会と協議しながら給食の安全、安心の確立に向かって取り組んでまいります。

区と連携して安全に努めます

大村町長 先般、事故発生の後、町内公園の遊具等の点検を実施したところ、類似の回転遊具はありませんでした。また、危険性の高いものも今のところ見受けられませんでした。ただ、今後は何が危険かわからない分野も沢山ありますので、更に調査・点検を進めていきます。担当職員による点検もさることながら、地元の自治会・区・関係機関と連携し、安全確保に万全を期します。



遊具の安全確保は万全に